



桑の緑

小坂小学校 学校便り
令和3年12月16日
文責：校長 江上 知男

「開催できて本当に良かった！」 学習発表会



12月10日(金)に、本校体育館で学習発表会を開催しました。幸いなことにコロナの感染状況が改善している時期となり、またこの時期としては運良く暖かい日となり、多くの保護者に参観していただくことができました(150人超)。感染対策へのご理解とご協力、心から感謝します。

さて、2年ぶりに実施した発表会はいかがだったでしょうか。コロナ禍の影響で、「10月2日の運動会を皮切りに行事を押し込めた怒濤の3ヶ月」となり、正直なところ学習発表会の準備もコンパクトになりました。しかしながら、各学年とも時間を有効に使って、楽しみながら準備を進めていました。その積み重ねがあり、子どもたちの発表はどの学年も「子どもたちの学習の足跡と成長」を感じられるものでした。また、運営の児童会役員も、素晴らしい進行でした。

心残りは、地域の皆さんに子どもたちの頑張りをご覧いただけなかったことです。また、「マスク着用で声が聞き取りにくかった」という声もいただきましたが、来年度への「宿題」とさせていただきます。コロナ感染を気にせず発表会等ができる日の到来を、皆さんと心待ちにしたいと思います。もう少しの辛抱だと思います。以下は、私が最後に述べた講評の抜粋です。

- 【1年】くじらぐも：自分たちで考えた言葉やゼスチャーを工夫し、伝わりやすいとてもはきはきした群読劇だった。言葉に強さがあった。入学して9ヶ月で、大きな成長を感じた。
- 【2年】スイミー：セリフに日本語とともに英語を使い、素敵な歌を交えた音楽劇だった。小道具(…大道具)の工夫が素晴らしく、子どもたちが発表にかけた情熱を感じた。
- 【3年】八頭大龍王：小坂校区に伝わる加藤清正公と八頭大龍王の話を、地域の方から聞き取った創作劇だった。最後の歌につながる43人の役割分担が見事だった。
- 【4年】ごんぎつね：有名なお話を、ナレーションと演技する人に役割分担して表現する演劇だった。衣装・小道具・音作り・照明等の工夫で、その場にいるような感覚になった。
- 【5年】もどらぬ命：全県民の問題である水俣病学習の成果発表。自分たちの考えを内容にちりばめ、何を学んだのかよく伝わった。フィナーレに学年としての成長を感じた。
- 【6年】「平和」とはなんだろう：日本人の課題である平和学習の成果発表。語り部さんの話を自分たちの日常生活まで落とし込んで考え、「学んだ責任」を言葉で伝えた。